

JENESYS 2.0

韓国青年訪日研修団

訪問日程 平成26年2月18日(火)～2月27日(木)

1. プログラム概要

「JENESYS2.0」の一環として、在大韓民国日本国大使館、在釜山日本国総領事館及び在済州日本国総領事館で選抜、派遣された韓国青年訪日研修団計87名が、去る2月18日から2月27日までの9泊10日の日程で研修を行いました(第1団団長:李守哲(イ・スウォル)大田新一女子高等学校教師、第2団団長 鄭美英(チョン・ミョン)龍山高等学校教師、第3団団長 玄春順(ヒョン・チュンスン)済州大学校師範大学附属高等学校教師)。

一行は、「日本を感じる」という研修テーマの下、滞在中、東京都内、地方(第1・2団:滋賀県、第3団:和歌山県)及び京都府で、学校訪問や企業訪問を行ったほか、ホームステイや文化体験を通して日本の魅力を体感しました。

※ 「JENESYS2.0」の概要についてはこちら

2. 日程

2/18(火)

到着(成田国際空港)

2/19(水)

研修に関するオリエンテーション、講義、歓迎昼食会、江戸東京博物館見学
東京スカイツリー見学(第1団)、浅草見学(第2・3団)

2/20(木)

学校訪問・視察(東京都立三鷹中等教育学校訪問(第1団)
郁文館夢学園グローバル高等学校訪問・東京スカイツリー(第2団)
東京スカイツリー・東京都立板橋有徳高等学校訪問(第3団))

2/21(金)

都内視察(浅草、三鷹の森ジブリ美術館、原宿(第1団)
三鷹の森ジブリ美術館、原宿、(第2・3団)
外務省訪問

2/22(土)

滋賀県へ移動、彦根城、近江八幡市内視察、ホームステイ対面式(第1・2団)
和歌山県へ移動、地方の魅力に関する講義、ホームステイ対面式(第3団)

2/23(日)

終日ホームステイ

2/24(月)

離村式
百濟寺見学(第1・2団)、企業訪問(中野BC株式会社)(第3団)

2/25(火)

企業訪問(タカタ株式会社)(第1・2団)、和歌山城、海善寺見学(第3団)
京都へ移動、和菓子作り体験(第1団)、茶道体験(第2団)、京都視察(金閣寺)(第3団)

2/26 (水)

文化体験 (茶道・着物着付)、金閣寺 (第1団)

文化体験 (着物着付・和菓子)、金閣寺 (第2団)

文化体験 (和菓子・茶道・着物着付) (第3団)

2/27 (木)

帰国 (関西国際空港)

3. 写真

	
(日本語) 2月19日 東京スカイツリー (墨田区)	(日本語) 2月20日 東京都立三鷹中等教育学校訪問 1団 (三鷹市)
(母国語) 2월 19일 도쿄스카이트리(도쿄스미다쿠)	(母国語) 2월 20일 도쿄도립미타카중등교육학교 1단(도쿄미타카시)
	
(日本語) 2月20日 東京都立三鷹中等教育学校訪問 1団 (三鷹市)	(日本語) 2月20日 東京都立三鷹中等教育学校訪問 1団 (三鷹市)
(母国語) 2월 20일 도쿄도립미타카중등교육학교 1단(도쿄미타카시)	(母国語) 2월 20일 도쿄도립미타카중등교육학교 1단(도쿄미타카시)
	
(日本語) 2月20日 郁文館夢学園グロー	(日本語) 2月20日 郁文館夢学園グロー

<p>バル高等学校訪問 2 団 (文京区)</p>	<p>バル高等学校訪問 2 団 (文京区)</p>
<p>(母国語) 2 월 20 일 이쿠분칸유메가쿠엔글로벌고등학교 2 단(도쿄분쿄구)</p>	<p>(母国語) 2 월 20 일 이쿠분칸유메가쿠엔글로벌고등학교 2 단(도쿄분쿄구)</p>
	
<p>(日本語) 2 月 20 日 郁文館夢学園グローバル高等学校訪問 2 団 (文京区)</p>	<p>(日本語) 2 月 20 日 東京都立板橋有徳高等学校訪問 3 団 (板橋区)</p>
<p>(母国語) 2 월 20 일 이쿠분칸유메가쿠엔글로벌고등학교 2 단(도쿄분쿄구)</p>	<p>(母国語) 2 월 20 일 도쿄도립이타바시유토쿠고등학교 3 단(도쿄이타바시구)</p>
	
<p>(日本語) 2 月 20 日 東京都立板橋有徳高等学校訪問 3 団 (板橋区)</p>	<p>(日本語) 2 月 20 日 東京都立板橋有徳高等学校訪問 3 団 (板橋区)</p>
<p>(母国語) 2 월 20 일 도쿄도립이타바시유토쿠고등학교 3 단(도쿄이타바시구)</p>	<p>(母国語) 2 월 20 일 도쿄도립이타바시유토쿠고등학교 3 단(도쿄이타바시구)</p>

	
<p>(日本語) 2月21日 外務省訪問</p>	<p>(日本語) 2月22日 ホームステイ対面式 1団・2団 (滋賀県日野町)</p>
<p>(母国語) 2월 21일 외무성 방문</p>	<p>(母国語) 2월 22일 홈스테이 대면식 1단・2단(시가현 히노초)</p>
	
<p>(日本語) 2月22日 ホームステイ対面式 1団・2団 (滋賀県日野町)</p>	<p>(日本語) 2月23日 ホームステイ 2団 (滋賀県日野町)</p>
<p>(母国語) 2월 22일 홈스테이 대면식 1단・2단(시가현 히노초)</p>	<p>(母国語) 2월 23일 홈스테이 2단(시가현 히노초)</p>
	
<p>(日本語) 2月24日 ホームステイ離村式 1団・2団 (滋賀県日野町)</p>	<p>(日本語) 2月22日 ホームステイ対面式 3団 (和歌山県日高川町)</p>
<p>(母国語) 2월 24일 홈스테이 송별식 1단・2단(시가현 히노초)</p>	<p>(母国語) 2월 22일 홈스테이 대면식 3단(와카야마현 히다카가와초)</p>

	
<p>(日本語) 2月23日 ホームステイ 3団 (和歌山県日高川町)</p>	<p>(日本語) 2月24日 ホームステイ離村式 3団 (和歌山県日高川町)</p>
<p>(母国語) 2월 23일 홈스테이 3단 (와카야마현 히다카가와초)</p>	<p>(母国語) 2월 23일 홈스테이 송별식 3단 (와카야마현 히다카가와초)</p>
	
<p>(日本語) 2月24日 百済寺 1・2団 (滋賀 県東近江市)</p>	<p>(日本語) 2月24日 百済寺 1・2団 (滋 賀県東近江市)</p>
<p>(母国語) 2월 24일 하쿠사이지 1단・2단 (시가현 히가시오미시)</p>	<p>(母国語) 2월 24일 하쿠사이지 1단・2단 (시가현 히가시오미시)</p>
	
<p>(日本語) 2月25日 企業訪問 (タカタ株 式会社) 1・2団 (滋賀県彦根市)</p>	<p>(日本語) 2月24日 企業訪問 (中野BC株 式会社) 3団 (和歌山県海南市)</p>
<p>(母国語) 2월 25일 기업방문(TAKATA 주식회사) 1・2단(시가현 히코네시)</p>	<p>(母国語) 2월 24일 기업방문(나카노 BC 주식회사) 3단(와카야마현 가이난시)</p>

	
<p>(日本語) 2月26日 着物体験(京都市)</p>	<p>(日本語) 2月26日 和菓子作り体験(京都市)</p>
<p>(母国語) 2월 26일 기모노체험(교토시)</p>	<p>(母国語) 2월 26일 와가시(和菓子) 만들기(교토시)</p>
	
<p>(日本語) 2月26日 茶道体験(京都市)</p>	<p>(日本語)</p>
<p>(母国語) 2월 26일 다도체험(교토시)</p>	<p>(母国語)</p>

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○ホームステイに関して

- ・家族が情に厚く、気を使ってくれる方々で、日本の生活や様々な文化体験をさせてくれた。別れ際涙を流して別れを惜しんでくれたので、また会いに来たいと思った。
- ・両国間の共通点や違いについて気になることを質問したり答えたりし、互いを理解する時間を持って良かった。
- ・一日体験で来た韓国人学生ではなく、本当の孫娘のように色々世話を焼いてくれて嬉しかった。
- ・初対面の自分たちにとってもよくしてくれたので自分たちもホストファミリーに何かして差し上げたいという気持ちになった。
- ・日本の一般家庭の雰囲気と伝統（ひな祭り）、日本人達の‘情’を感じることができ生涯忘れられない思い出になった。
- ・日本語ができなくて不便さを感じることもあったが、ホストファミリーがジェスチャーや表情で積極的に意思疎通を図ろうとしてくれたことで心地よく滞在することができた。このことを機に日本に対して持っていた偏見を捨て、興味を持つ事が出来たという点で今回の研修に参加した意味があったと思う。
- ・農村地域でのお年寄りの家にホームステイしたことで、伝統的な日本家屋、食事、生活スタイルを体験できたことは単にショッピングや観光することより良い経験となった。
- ・生活習慣は違うが、訪問客の事を優先的に考えたり、自分たちを家族の一員のように迎え入れてくれたところは韓国の‘情’と同じだと感じた。

○学校訪問に関して

- ・韓国では体育の授業は体育が得意な学生だけが一生懸命参加するが、日本人は得意不得意関係なく全員が授業に一生懸命参加していることに驚いた。
- ・初対面で緊張していたが、日本人の生徒が‘韓国が好きだ’とか、‘日本語が上手だ’と気軽に声をかけてくれたことがとても嬉しかった。
- ・日韓関係が悪化しているためどのような対応をされるのか心配だったが、みんな差別なく親切に接してくれ日本への認識が変わった。やはり人から聞いた話を鵜呑みにするのではなく、自分の目で見て感じる事が大切だと思った。
- ・授業や部活体験が本当に楽しく、自分も好きな部活動に所属し活動できたらと楽しいだろうなと思った。
- ・日本の学校では、学生が本当にやりたいことは何かを一緒に探してくれる感じがした。
- ・学生達が予想以上に親切に接してくれて嬉しかった。どうやって声をかけたらいいのか分からずためらう自分に向こうから歩み寄ってくれるなど、ただの日韓間の学生交流ではない本当にずっと付き合っていきたいと思える出会いになった。
- ・日本人の学生が韓国の文化に深い関心を持っていること、特にドラマや音楽について自分よりもむしろ日本人の友達方が詳しかったことにとっても驚いたと同時に嬉しかった。
- ・学校をただ訪問するだけでなく、一緒に授業を受けることができて良かった。日本人学生の生活

や授業態度、教室の様子を見ることができた。

○伝統、文化、自然に関して

- ・着物、神社参拝、料理体験ができて良かった。
- ・経験してみたかった日本の祭りを直接体験できて良かった。
- ・着物が魅力的だった。
- ・ただの観光では体験することができない着物の着付けや和菓子作り体験ができたことが思い出に残った。また日本と韓国の文化を比較することができる時間を持つ事が出来ことは、自分も含め、他の学生たちも喜んでいたと思う。
- ・ホームステイ先ではこたつを初めて体験し、また日本人でもあまり着ることがない着物を着たり、茶道や和菓子作りを体験ができたこと良かった。
- ・伝統を保存し継承している事、そして継承されてきた伝統を現代社会と調和させ付加価値を創出しているところがとても素晴らしいと思った。

○人間性について

- ・日本人に対し今までネガティブなイメージを持っていたが、皆とても親切で悪いイメージがなくなった。
- ・空港で携帯電話を無くした時に、みつけることはないと思っていたのに届けてくれた人がいた。そういった日本人の立派な国民性に驚いた。
- ・人々の規則や礼儀、公共秩序やマナーなどに対する意識が高いと思った。
- ・親切、勤勉で互いを気遣う国民性だと感じた。
- ・非常に細かいところまで気を使う繊細さを持っていると思った。
- ・道路のきれいさ、歩道を一列で歩く姿をみると日本人は暗黙の了解で秩序を守っている。
- ・礼儀、礼遇、勤勉、道徳的で、基本的に自分より他の人を優先する人達だと感じた。
- ・とても親切だが、互いの領域を侵害することなく個人を尊重する日本人の姿が印象的だった。
- ・日本人は自分の感情をあまり表現しないため接するのが難しいと思っていたが全く違っていた。
- ・非常に細かいところまで気を使う繊細さを持っていると思った。

○その他

- ・日本人の優しさや様々な体験を通して自分の中にまた新たな価値観を見出すことができた。これを機に、もっと日本語の勉強を頑張る時は意思疎通ができるようにしたい。
- ・様々な経験を通して、近くて遠い国だと思っていた日本に親近感をもつことができた。
- ・第二の故郷と言える場所に友達ができて嬉しかった。
- ・日本ではトイレとお風呂が別々なことにカルチャーショックを受けたが、韓国にも導入したいと思った。
- ・これまで日本は「復讐の対象」だったが、今は「未来を一緒に開いていく東アジア最大の協力国」に変わった。
- ・韓国とは違い、道路にはゴミが全くなく、施設やトイレもとても清潔で驚いた。
- ・どこへ行っても店の店員や施設の職員が皆とても親切だったのが印象的だった。
- ・これからはこのような交流ではなく、個人的にでも日本を積極的に訪れたい。

- ・日本に対する認識が180%変わったので、これからもっと関心を持ち好きになりそうだ。
- ・Jenesys2.0 プログラムを通して沢山の学生が日本を直接見て感じ、普段持っている偏見を捨てたなら韓国と日本は互いに良い部分を見習い交流し近づくことができると思った。
- ・できることなら、一緒に日本に訪問した研修団の団員達と良い関係を維持し、歪曲していない本当の日本を伝える活動やキャンペーンなどに積極的に参加したい。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・互いの国に対し先入観や誤解をなくしていきたい。
- ・文化財や観光地の管理が行き届いている点について韓国も見習った方が良かったと思った。
- ・勉強だけに抑圧されるのではなく、芸術や運動など均等に学べるところは韓国も見習うべき。
- ・日本のおもてなし文化を韓国も見習うべきだと思った。
- ・日本と韓国は関係改善し、互いに力を合わせる必要がある。
- ・どこに行っても常に親切心を忘れないところは韓国も見習うべきだと思った。
- ・韓国に戻ったら、友人たちに日本人の礼儀正しさや国民性、尽きない親切心、文化など日本を訪問して感じた感動を伝えたい。
- ・友人に、必ず日本人でなくてもいいので、外国人の友達作って交流することを勧めたい。
- ・道路や施設をきれいに管理している点を見習うべきだと思った。
- ・ひな祭りの準備をしているときに感じた日本人の‘美意識’とホームステイで感じた‘情’について伝えたい。
- ・今回初めて日本訪問研修に参加したが、知人や友人にも紹介したい。